勝山地区

●12月１日（金）●勝山公民館●参加者30人

問　「ゆぅゆ」の現状と課題について
①　リニューアルオープン後の利用者数は目標としていた数値にとどいているか。②再開してから現在までの評価と課題、今後新たな取り組みを考えているか。

答　①上半期（４～９月）分までの目標値を達成している。入浴利用者数については目標３万５千人、実際の利用者数は４万３千人で達成率123％。売上金額は達成率108％。レストランは達成率112％。コテージは達成率127％。
②　上半期を終え計画以上の利用状況となったことは、職員の頑張りはもとより、町民の皆さんのご支援とご協力によるものと感謝している。今後も職員体制の充実に努めてほしい。閑散期に向け、時節に合わせたイベントの実施や送迎車両の有効活用、ＰＲ活動の強化などを検討していると聞いている。

問　勝山墓地内は４つのブロックに分かれているが、全てのブロックに簡易階段設置と駐車場整備をしていただきたい。

答　町で墓石との間を確認しながら、できれば複数箇所施工したいと考えているので、検討する時間をいただきたい。駐車場整備は、地形に傾斜があるため直営工事ができない。予算の関係上、内部協議の時間をいただきたい。

問　除雪困難者については、地域でも助け合いながら積極的に支援をしているが、支援者も高齢化でこれ以上の件数を増やすのは難しくなっている。町からの依頼業者を増やすなど行政サービスを強化し補完できないか。地域でも引き続き解決策を模索していくが、検討いただきたい。

答　高齢者などの除雪困難者対策は、社会福祉協議会による除雪サービス及び軽度生活援助事業において実施されている。除雪サービスは、１社による委託により実施しているが、昨年度から境野地区の業者へも委託している。その他の地域においても委託できる業者について随時協議をしているが、見つかり次第委託業者を追加していく予定と聞いている。しかし、町道などの除雪を請け負っている業者は、道路を開けてからの作業となるなど、希望の時間に除雪をすることは物理的にも困難であることをご理解願いたい。軽度生活援助事業では各地区で対応できるところと出来ないところがある。除雪問題は年齢や地域を越えた支え合いなどについて、今後検討をしていかなければならないと考えている。

問　公民館正面ドアについては、人が出入りするたび開いたままの状態になるため、荷物の出し入れにも便利な自動ドアかドアクローザー方式など改善を検討していただきたい。

答　葬儀などたくさんの方が出入りする場合、開いたままになっている状況も理解している。「自動ドア」というわけにはいかないが、来年度に向けて検討していきたい。

問　一昨年、「置戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を立ち上げたが、「人口流失防止策・転入人口増加策・定住促進策」などについて、具体化されつつある施策はあるのか。

答　定住対策については、町づくり企画課企画係が窓口となって、引き続き、新築住宅の建設や住宅改修への支援、子育て支援策として各種検診や医療費助成、町外への通学生に定期券購入費補助などを行っている。「おけと勝山温泉ゆぅゆ」には、２名の地域おこし協力隊員がスタッフとして活動しながら、勝山地区に居住して地域や町の活性化に向けた活動をしている。町内の空き家を登録いただき、利用したい方に情報提供する「空き家バンク」を平成27年度から始め、13件の登録があり、10件が利用されている。今後も積極的に空き家登録のＰＲをして町内外の方に情報発信していきたい。現在の超高齢社会は、勝山地区のみならず、町全体、国全体の問題である。地域の皆様のご協力をいただきながら、解決に向けた取り組みを進めたい。

問　勝山第一の結城宅から旧苗畑を横断している明渠の底上げをお願いしたい。

答　現在農地を使用している勝山グリーンファームと協議の結果、来年度の実施予定と聞いている。

問　北１線の道路補修についてお願いしたい。

答　随時、傷みのひどい箇所からパッチング・レール引きなどを実施していく。